

## ～科学的介護情報システム(LIFE)を使った老人ホームのリハビリ実施率～ 有料老人ホーム等の僅か9%。自立型、高額ホームに集中。

株式会社TRデータテクノロジー(本社:東京都中央区 代表取締役 田中幹雄。以下当社)は、2021年度介護報酬改定から制度化された科学的介護情報システム(LIFE)について、導入から1年を経た利用実態を調べるために、約5千ヶ所の有料老人ホーム等(※)で提供されるリハビリの分析を行いました。その結果、LIFEの活用が算定要件となる個別機能訓練加算Ⅱの算定率は全体で僅か9%という少ない結果でした。

なお、当社では全国の介護施設及び居宅サービスを含む約24万件におよぶ介護データを販売しており、2022年8月1日には最新の2022年度版をリリースしています。(※介護付有料老人ホーム、特定施設を取得したサービス付き高齢者向け住宅)

### 1)科学的介護情報システム(LIFE)について

介護情報の電子化(利用者・サービスの情報等)を図り、科学的なエビデンスに基づいたサービス提供やPDCAサイクルを推進することで、より効果的な自立支援や重度化予防を目的とした取り組みです。

※厚生労働省HP(科学的介護情報システム(LIFE)について) [https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000198094\\_00037.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000198094_00037.html)

### 2)個別機能訓練加算の算定状況

有料老人ホーム等では、理学療法士等の専従スタッフがリハビリを提供すると、個別機能訓練加算が算定できます。今回調査では有料老人ホーム等の32%が本加算を算定していましたが、従来の申請方法(加算Ⅰ)が圧倒的に多く、LIFEの活用が算定要件となる加算Ⅱへ移行するホームは約3割、全体では9%の算定率に留まりました(図1)。

また、加算Ⅱを算定したホームの定員ランキングでは、社会福祉法人聖隷福祉事業団を筆頭に自立者向けのホームが上位に並び、介護型では業界大手の株式会社ツクイが2位となっています。その他、前払い方式を採用する高額ホームの運営事業者が多い点が特長と言えます。

#### ●個別機能訓練加算の算定状況

図1: 加算算定率 n=4,984

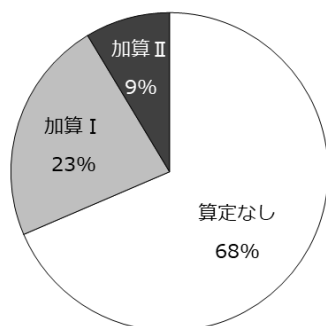


表1: 個別機能訓練加算Ⅱの加算ホーム 定員ランキング

	運営会社名	定員数	ホーム数
1	社会福祉法人聖隷福祉事業団	1,893	6
2	株式会社ツクイ	1,491	20
3	株式会社ニチイケアパレス	1,313	19
4	株式会社ハーフ・センチュリー・モア	955	4
5	スマリクエアライフ株式会社	830	3
6	トラストガーデン株式会社	701	3
7	公益財団法人ニッセイ 聖隷健康福祉財団	598	1
8	ライフケアデザイン株式会社	519	8
9	東京都住宅供給公社	482	1
10	有限会社精詳	441	4

※2022年6月までに開業しているホームが対象/図1の「算定なし」には加算取得が不明のデータを含む/2021年度の改正前の加算情報しか入手できないホームは「個別機能訓練加算Ⅰ」として集計/加算情報は介護サービスの情報公表制度より(2022年6月時点/厚労省)。

### 福祉施設・高齢者住宅DataBaseの概要

【サービス概要】 全国の福祉施設の情報を収集して介護データベースを構築。ホーム基本情報のほか入居率や利用料等の商品情報を法人向けに提供。ホーム事業者や福祉機器メーカー、学術機関等の様々な分野で採用されている。

【データ収集方法】 介護サービスの情報公表制度、全国自治体が公開する有料老人ホーム重要事項説明書及びサ高住情報提供システム、全国自治体へのヒアリング等による独自調査

【企画協力・販売】 株式会社高齢者住宅新聞社 <https://koureisha-jutaku-db.com/>

○本リリースに関するお問い合わせ TEL:03-6262-7743 MAIL:trdt\_info@tr-h.co.jp

株式会社TRデータテクノロジー 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-1-8 日本橋本町1丁目ビル10F

